# 第2回 日本定量 NMR 研究会年会 プログラム

※午前プログラムは国立衛研、午後プログラムは LiSE 大会議室で行います。

10:00 ~ 11:30 ポスター発表 (国立医薬品食品衛生研究所 1 階多目的スペース)

## 1 外部標準法 gNMR の自動化スクリプトの作成

〇西﨑雄三<sup>1</sup>,石附京子<sup>1</sup>,中島馨<sup>1</sup>,増本直子<sup>1</sup>,末松孝子<sup>2</sup>,杉本直樹<sup>1</sup>,佐藤恭子<sup>1</sup>
<sup>1</sup>国立衛研,<sup>2</sup>JEOL RESONANCE

## 2 <sup>13</sup>C-CP/MAS を用いた食品添加物キトサンの脱アセチル化度の測定

〇石附京子,建部千絵,西﨑雄三,窪崎敦隆,多田敦子,杉本直樹,佐藤恭子 国立衛研

## 3 機器分析のための同軸チューブを用いた qNMR 測定

○小倉立己<sup>1,2</sup>,若山正隆<sup>1</sup>,曽我朋義<sup>1</sup>,冨田勝<sup>1</sup> <sup>1</sup>慶應義塾大学 先端生命科学研究所,<sup>2</sup>(公財)庄内地域産業振興センター

## 4 <sup>31</sup>P 核を用いた <sup>31</sup>P-qNMR の検討(1)シクロホスファミド水和物の絶対純度の測定

○内山奈穂子<sup>1</sup>,細江潤子<sup>1</sup>,杉本直樹<sup>1</sup>,石附京子<sup>1</sup>,小出達夫<sup>1</sup>,村林美香<sup>2</sup>, 宮下尚人<sup>3</sup>,小林謙吾<sup>3</sup>,藤峰慶徳<sup>4</sup>,横瀬俊幸<sup>4</sup>,大藤克也<sup>5</sup>,清水仁<sup>5</sup>, 長谷部隆<sup>6</sup>,浅井由美<sup>6</sup>,江奈英里<sup>6</sup>,菊池純子<sup>7</sup>,清田浩平<sup>7</sup>,藤田和弘<sup>7</sup>, 牧野吉伸<sup>8</sup>,八十歩直子<sup>9</sup>,山田裕子<sup>10</sup>,岩本芳明<sup>10</sup>,三浦 亨<sup>10</sup>,水井浩司<sup>10</sup>,朝倉克夫<sup>11</sup>,末松孝子<sup>12</sup>,小浜亜以<sup>13</sup>,安田万寿<sup>14</sup>,植田知彦<sup>15</sup>,合田幸広<sup>1</sup> 「国立衛研,<sup>2</sup>武田薬品,<sup>3</sup>第一三共,<sup>4</sup>大塚製薬,<sup>5</sup>中外製薬,<sup>6</sup>エーザイ,<sup>7</sup>塩野義製薬,<sup>8</sup>十全化学,<sup>9</sup>富士フイルム,<sup>10</sup>富士フイルム和光純薬,<sup>11</sup>日本電子,<sup>12</sup>JEOL RESONANCE,<sup>13</sup> RS 財団,<sup>14</sup>日本新薬,<sup>15</sup>大日本住友製薬

### 5 <sup>1</sup>H NMR によるグルカン類の非破壊絶対定量

〇山本佳奈, 笛木周平, 道川麻美, 内藤早苗, 加藤毅 (一財) 日本食品分析センター

## 6 <sup>1</sup>H-NMR によるニコチンアミドモノヌクレオチド (NMN) 定量法の開発

〇笛木周平,近宗雅人,加藤毅,水越一史 (一財)日本食品分析センター

### 7 危険ドラッグ製品の NMR を用いた定量分析法の検討

〇田中理恵, 袴塚高志, 花尻(木倉) 瑠理 国立衛研

## 8 国際調和に向けた日本薬局方の医薬品各条における試験法の改定に関する検討: qNMR を利用した類縁物質の純度決定

〇辻厳一郎, 伊藤貴仁, 内山奈穂子, 細江潤子, 合田幸広, 出水庸介 国立衛研

## 9 シングルリファレンス HPLC によるクルクミン類の定量法の検討

〇高橋未来<sup>1</sup>, 高木映里<sup>2</sup>, 西崎雄三<sup>3</sup>, 杉本直樹<sup>3</sup>, 佐藤恭子<sup>3</sup>, 井之上浩一<sup>1,2</sup>
<sup>1</sup>立命館大院薬, <sup>2</sup>立命館大薬, <sup>3</sup>国立衛研

## 10 GxP 管理下での qNMR 法 - 完全自動化されたソリューション

○平野桐子¹, Fabrice Moriaud², Anna Codina³¹ブルカージャパン株式会社, ²Bruker Switzerland AG, ³Bruker UK Limited

#### 11 定量 NMR 法による有機化合物の純度測定

加藤毅

(一財) 日本食品分析センター

## 12 qNMR Inter Laboratory Comparison 及び海外動向について

三浦亨

富士フイルム和光純薬株式会社 機能性材料研究所

### 13 高純度 NMR 溶媒について

水井浩司

富士フイルム和光純薬株式会社 ケミカル開発部

※13:00 から LiSE 会場にて質問時間を設けます。 密にならないようにご注意いただきご参加ください。

### 会場:国立医薬品食品衛生研究所 2階共用会議室

座長 杉本直樹(国立衛研)

11:00 ~ 11:45 **教育講演「qNMR 実践法」** 

株式会社 JEOL RESONANCE 末松孝子

11:45 ~ 13:00 昼休み

昼食は各自でお取りください。

衛研共用会議室で昼食可、LiSE には食堂があります。 衛研退所時にはカードを守衛所でお返しください。

## 会場:LiSE 1階大会議室

座長 合田幸広 (国立衛研)

13:00 ~ 13:30 ポスター 質問時間

13:30 ~ 13:35 開会挨拶

日本定量 NMR 研究会 幹事長 杉沢寿志

座長 大槻 崇(日本大学)

13:35 ~ 14:15 講演 1 「吸湿性物質の定量 NMR 測定について」

国立衛研 内山奈穂子

 $14:15\sim14:45$  講演 2 「Development of High Purity Deuterated Solvents」

富士フイルム和光純薬 三浦亨

14:45 ~ 15:00 休憩 (換気タイム)

座長 藤田和弘(塩野義製薬)

15:00 ~ 15:30 講演 3 「企業における利用例~生薬・漢方薬への qNMR 活用~」

株式会社 ツムラ 丸山剛史

15:30 ~ 16:00 講演4「定量に用いる相対モル感度(RMS)の求め方」

国立衛研 杉本直樹

16:00 ~ 16:20 休憩 (換気タイム)

16:20 ~ 17:00 パネルディスカッション「製薬企業での qNMR の利用方法について」

司会 国立衛研 合田幸広

17:00 ~ 17:05 閉会挨拶

第 2 回日本定量 NMR 研究会年会 実行委員長 合田幸広